

3つの柱 1 お買い物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

「週一宅配」を軸に、店舗やその他のサービスを組み合わせることでお買い物を支援し、安心して暮らすことができる「まち 暮らし」



宅配を起点とした買い物サービスに

全ての地域・世代で利用しやすい宅配を起点とした買い物サービスの実現をめざしています。これまで店舗を拠点としていた無料買物送迎車「買い物ん行こカー」の運行拠点を協同購入センターに移管(12店舗8台)。

弁当やおかずのセットを届ける夕食サポート「まいくる」も協同購入センターを拠点としており、「週一宅配」を中心にコープこうべの買い物サービスを組み合わせご利用いただけるようしくみづくりをすすめています。



「買い物ん行こカー」の拠点にもなっている協同購入センター西神戸

加入や利用のしやすい 宅配デジタル化をすすめています

「宅配をすぐに始めたい」「商品のことをもっと知りたい」などの声に応え、コープこうべネット・アプリをリニューアルしました。

新たなWeb加入システムでは、対面することなく、スマホやネットから宅配加入手続きを行うことが可能になりました。

また、『めーむ』掲載時に自動で注文できる新機能「のったら自動注文」により、買い忘れが減り、利用しやすくなりました。



リニューアルしたコープこうべアプリで注文

買い物支援ボランティアが広がっています

2016年から始まった買い物支援ボランティア。「買い物ん行こカー」と連携した活動が増えています。コープ山本やコープデイズ神戸西、コープデイズ豊岡で「買い物ん行こカー」の到着に合わせて、組合員の買い物のお手伝いをする組合員同士の助け合いの輪が広がっています。



買い物ん行こカーが到着(コープ山本)



買い物を手伝うボランティアの皆さん(コープデイズ神戸西)

地域の状況に合わせて 「めーむひろば」を広げています

コープミニ中津の跡地に開設した加古川コープのつどい場「かっこ」、旧コープ東加古川の近隣に開設した東加古川コープのつどい場「虹」では、宅配商品をセルフで受け取る方式の「めーむひろば」を実施しています。店舗が営業終了した後も宅配商品の供給を通じて買い物支援の取り組みをすすめています。



セルフ受け取り方式のめーむひろばで商品を受け取る組合員(つどい場「かっこ」(上)、つどい場「虹」(下))

地域団体と協働で 「見守り宅配」に取り組んでいます

5月に新温泉町社会福祉協議会と「新温泉町における買物困難者等への支援に関する協定」を締結。協定のもとに、8月から地域の福祉作業所の利用者がコープこうべの宅配商品のお届けを始まりました。

障がいのある方の社会参加・活躍を応援するとともに宅配を通じて地域の買い物支援、高齢者の見守りにつなげています。



宅配商品を届ける福祉作業所の利用者

高齢者の見守りに 夕食サポートの活用を開始しました

11月、神河町社会福祉協議会と「神河町における買物困難者等への支援に関する協定」を締結。これを機に、同会が実施している高齢者の見守りを兼ねたお弁当配達サービスで、夕食サポート「まいくる」の弁当を利用する試験運用を開始しました。地域ぐるみで、くらしや買い物に困っている方への支援を広げています。



神河町社会福祉協議会 秋山紀史会長(左) 第7地区 柳田由美子理事(右)

地域の福祉車両を活用した買い物送迎サービスの試験をすすめています

コープデイズ豊岡では、高齢化率の高い地域の買物困難者を対象に、買い物支援に関する協定を結ぶ豊岡市社会福祉協議会と協働で、空き時間の福祉車両を活用した買い物送迎の試験運行を開始しました。買い物に対する不安を取り除いていこう、地域団体との連携を広げていきます。



送迎車両から店内に向かう組合員(コープデイズ豊岡)

行政と連携し子育て支援に 取り組んでいます

行政が行う子育て支援の取り組みに賛同し、新たに宝塚市、たつの市に出産祝品の提供を開始しました。赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに、子育てにおける孤立や孤独を防ぐため、お出かけを意識したお祝いの品を提供。健康やかな成長を願い、行政と一緒に取り組んでいます。



祝い品を受け取る
山崎晴恵 宝塚市長(右端)



祝い品を受け取る山本実 たつの市長(左から2番目)

食卓をイメージしやすい 売り場づくりに取り組んでいます

旬や季節が伝わり、食卓のメニューがイメージできる売り場づくりや品ぞろえの見直しに取り組んでいます。先行店のコープ西宮東での実践効果を確認し、この取り組みをコープ神吉でも始めました。より買いやすく、食卓をイメージしやすい提案型の売り場づくりを広げています。



旬や季節が伝わる農産売り場

職員が推す!「コープ商品総選挙」 「CMコンテスト」を開催しました

コープ商品を通じたコミュニケーションを図ろうと、日本生協連が実施した「コープ商品職員総選挙」に全国の生協職員と共に参加しました。また組合員、職員にコープ商品の魅力をより深く伝えていくことを目的に、コープこうべの職員自身が推すコープ商品を動画やポスターで紹介する「コープ商品CMコンテスト」を開催。これらは、『めーむ』や店舗情報誌Web版などの媒体で活用していきます。



職員が「推し」のコープ商品を描いたポスター

コープ商品の学習を すすめています

コープ商品について学ぶ「ラブコープフェスタ」を開催しました。住吉事務所や地区本部、店舗など11会場で約320人の組合員・職員が参加(オンラインを含む)。六甲アイランド食品工場の稼働終了が決まり、日本生協連との共同開発商品として引き継がれた納豆やこんにゃく、冷中華などの製造委託先から講師を招き、交流会を開催。商品のこだわりや開発時の苦労話など、意見交換や試食を通じて商品の特長を学びました。



コープ商品を試食する組合員

コープ立花が リニューアルオープンしました

建て替えのため休業していたコープ立花が11月、3年ぶりにリニューアルオープンしました。地元野菜のコーナーを設置し地産地消を推進。離乳食、幼児食の品ぞろえも増やし、子育て応援の売り場も拡充しました。さまざまな世代が利用しやすく、親しみやすい店舗をめざしています。



組合員を迎える職員と地域コープ委員の皆さん

「コープ商品」で 組合員のくらしを応援しました

物価上昇が続く中、全国の生協と共に宅配や店舗でコープ商品を特別価格で提供する「くらし応援全国キャンペーン」を実施しました。

また、より多くの方にコープ商品を利用していただくために特別価格で提供する「コープ商品びっくり価格」も実施。昨年を超えるご利用をいただきました。



コープ商品をお買い得価格で提供

食物アレルギーに関する学習会を 開催しました

第2地区の店舗では、食物アレルギー当事者の会や支援団体の「LFA Japan」と共に、食物アレルギーに配慮した商品を見つけやすくなるよう、売り場を工夫しています。

また、食物アレルギー当事者同士の交流会や、地域の方を対象に、食物アレルギーについての理解を深める学習会を開催。メーカーの方々にも協力していただき、誰もが安心して食事を楽しめるよう取り組みをすすめています。



食物アレルギーについて話す「LFA Japan」大森真友子代表

保障を通じたくらしの 安心づくりをすすめています

コープこうべの子会社(株)コープエイシスと連携し、保障の提案を通じたくらしの安心づくりに取り組んでいます。

コープ共済と団体保険を組み合わせた「くらしの総合保障」のセットプランを提案しています。また組合員の健康づくりのサポートとして、推定野菜摂取量が測定できる「ベジチェック®」イベントなどを店舗の共済相談コーナーで開催。のべ1万5000人を超える方に参加いただきました。



野菜の摂取量を測定する「ベジチェック®」ブース